

# 首都圏在住者の国内旅行に関する マーケティングデータ

朝日大学マーケティング研究所

## 調査概要

調査方法	Webアンケート
調査期間	2007年3月12日(月)～3月14日(水)
事前調査対象	首都圏在住の20歳～69歳男女
調査対象	事前調査で、ここ2年間に、プライベートで国内の首都圏以外へ旅行をしたことが「ある」と回答した人  帰省、里帰り、ビジネス目的、社員旅行、修学旅行は除く
有効回答	646名

	男性	女性
20代	63	63
30代	65	65
40代	65	64
50代	65	66
60代	65	65
計	323	323

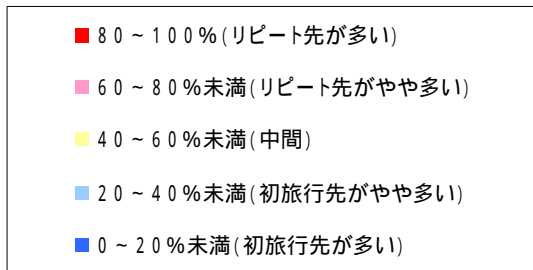
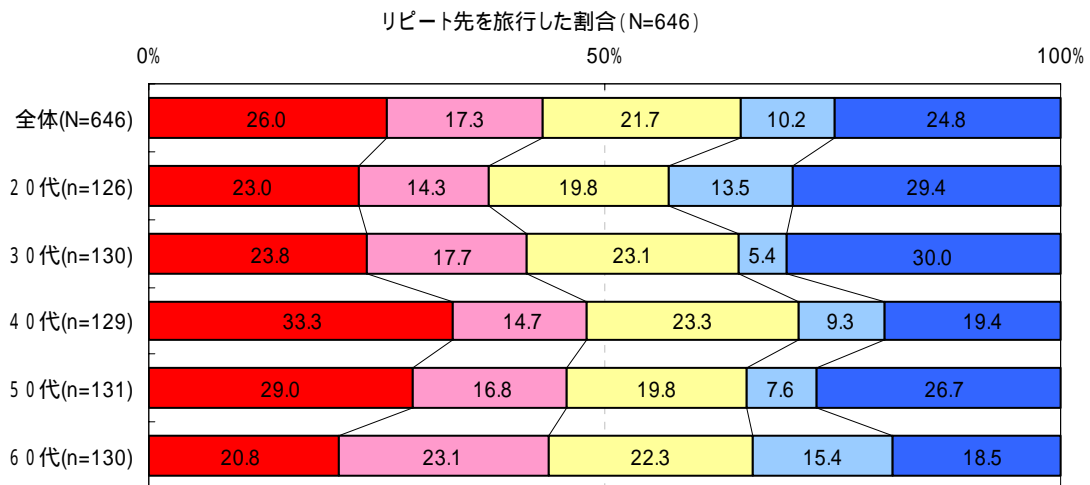
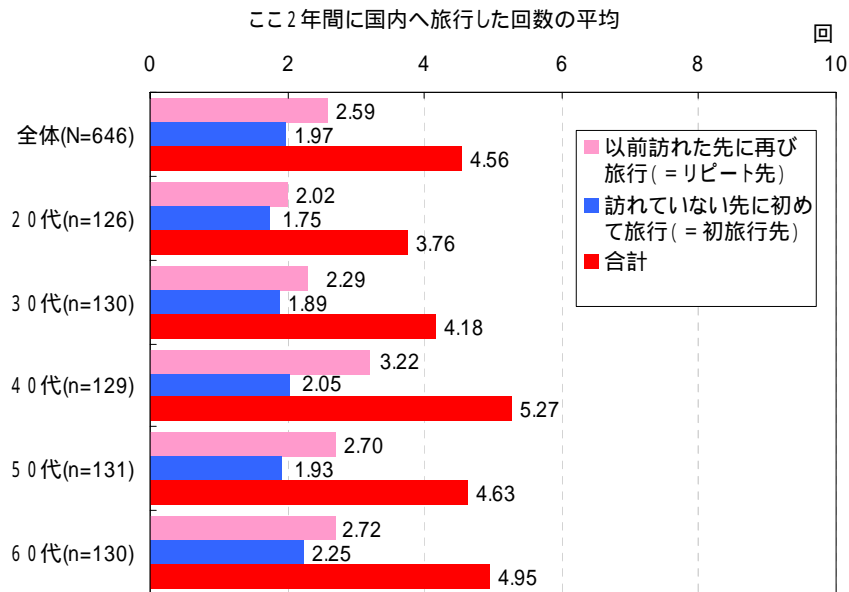
\*注 以前訪れたことのある先 = リピート先、訪れたことのない初めての先 = 初旅行先として分析を行っている。

# 1. 国内旅行先のリピート状況

## 国内の旅行先を選ぶ際、リピート先が特に多いのは40代

ここ2年間に、「リピート先を旅行した回数」と「初旅行先を旅行した回数」、そしてその合計を数字で記入してもらい、各年代毎の平均をみると、どの年代でもリピート先を旅行しているケースが、初旅行先を旅行したケースを上回っている。また、旅行の合計回数が最も多いのは40代であった(5.27回/2年間)。

「リピート先を旅行した回数」の割合を求め、5段階に振り分けたとところ、20代では、初旅行先の割合が高い人が多い。一方、40代以上では、リピート先への旅行の割合が高い。特に40代は、リピート先への旅行割合が多い人(80~100%)が3分の1に上る。



## 2. リポート先と初旅行先での同行者の変化

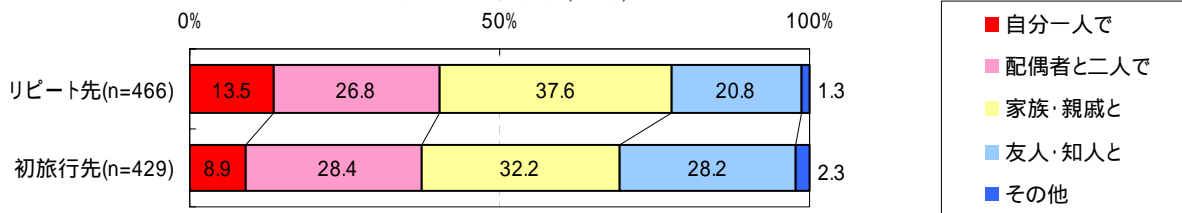
### 20代・60代女性と30代男性では、リポート先と初旅行先への旅行で同行者が変わる

ここ2年間で「リポート先への旅行」、「初旅行先への旅行」、それぞれ一番最近の旅行について誰と行ったかを尋ねたところ、20代女性が初めての先へ旅行した時には、「友人・知人と」行ったという人の割合が最も高いが(42.9%)、リポート先を旅行した時には、「家族・親戚と」行ったという人が最も多い(31.8%)。60代女性にも同様の傾向がみられ、初めての先へ旅行した時には、「友人・知人と」行ったという人が最も多いが(35.4%)、リポート先を旅行した時には、「家族・親戚と」が最も割合が高い(34.0%)。

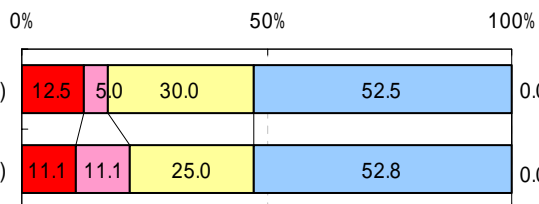
30代男性が初旅行先を旅行した時には、「家族・親戚と」行ったという人が最も多く、「配偶者と二人で」という人の割合は2割と低いが、リポート先を旅行した時には、「配偶者と二人で」という人の割合が最も高い(33.3%)。

20代男性では「友人・知人と」、30代女性、40代男性、40代女性では「家族・親戚と」、50代男性、50代女性、60代男性では「配偶者と二人で」、旅行に行った人の割合が、リポート先でも初旅行先でも最も高い。

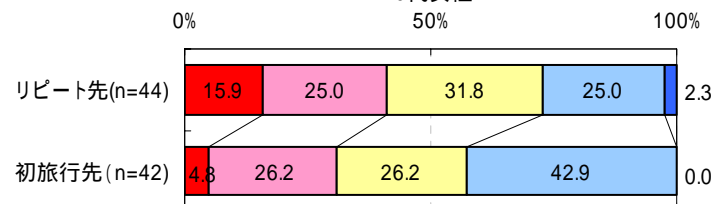
旅行した際の同行者(全体)



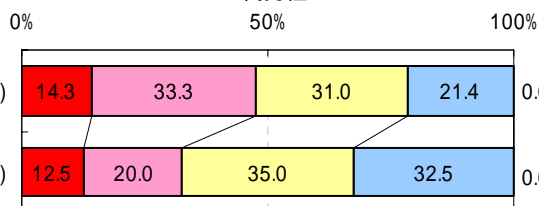
20代男性



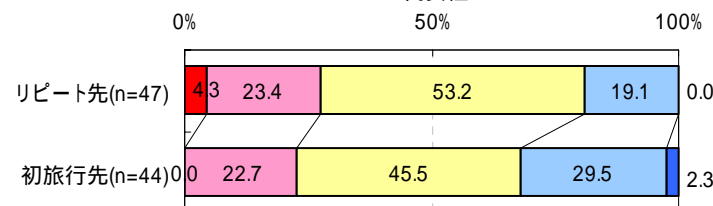
20代女性



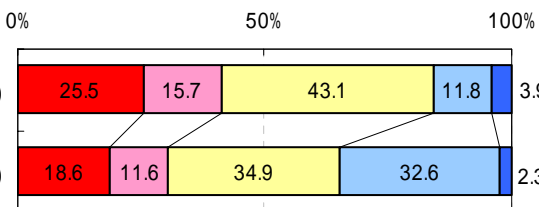
30代男性



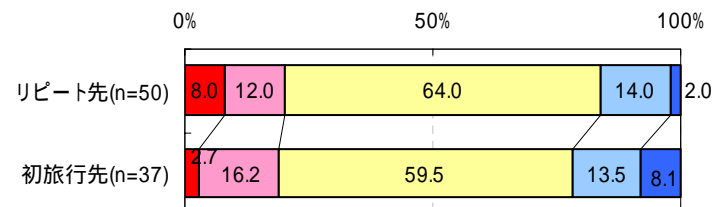
30代女性



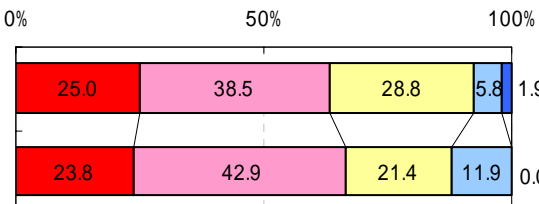
40代男性



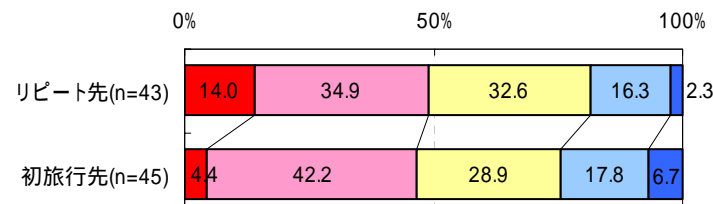
40代女性



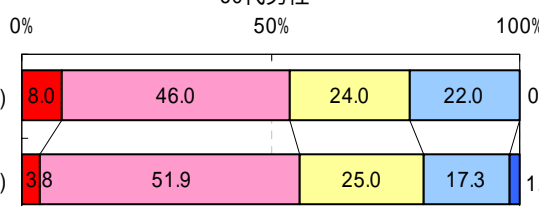
50代男性



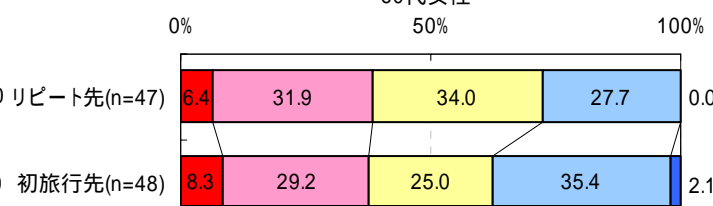
50代女性



60代男性



60代女性



### 3. 以前訪れた先を再び選んだ理由

#### 自然・風景が懐かしくなって再び訪れた人が多いが、30代男性は観光より体験、60代男性は宿泊施設の料理目当てが多い

以前訪れた先を再び選んだ一番の理由としては、「以前旅行した時に見た美しい自然や風景が懐かしくなったから」(18.7%)が群を抜いてトップ。次いで「行きやすい場所にあったから、手軽に行けたから」が多い(7.9%)。

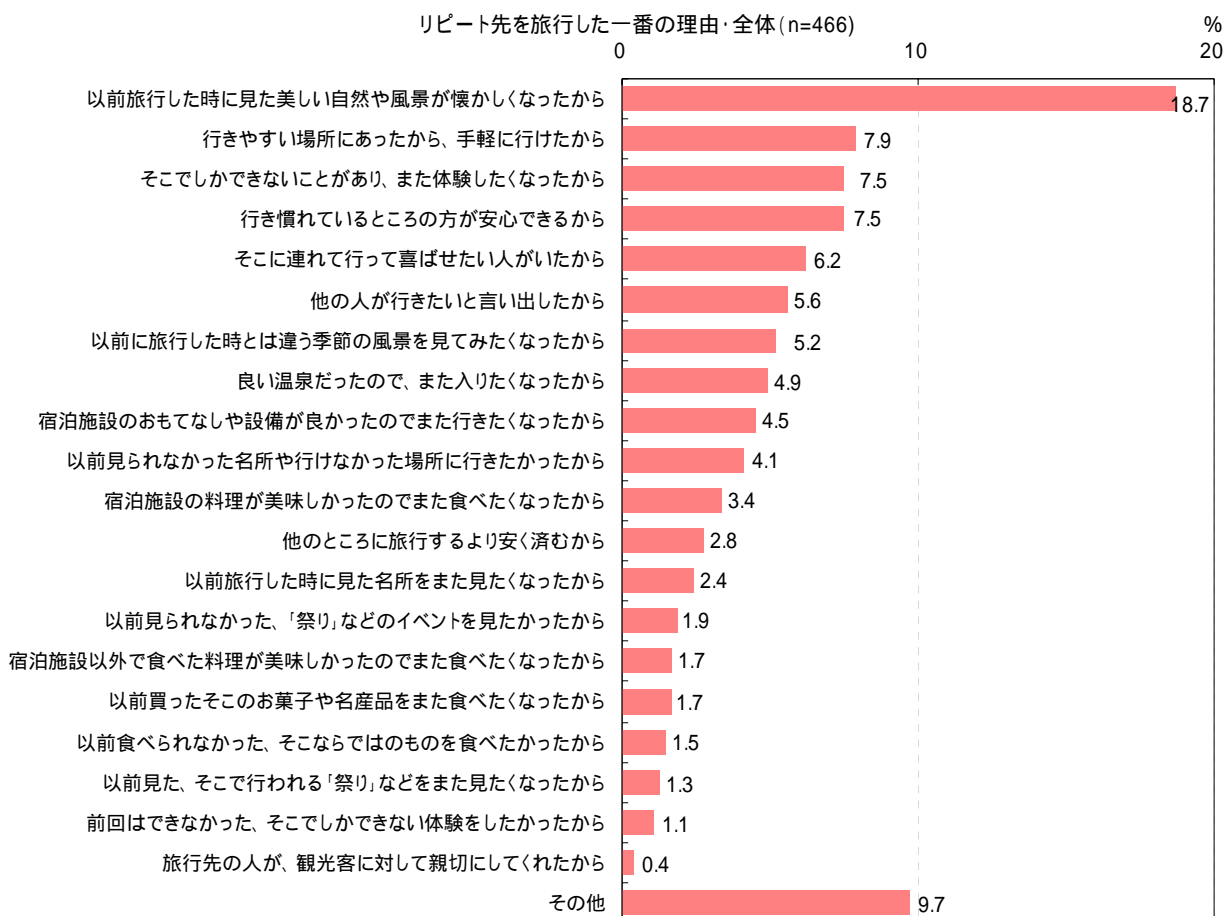
性年代別にみると、30代男性では「そこでしかできないことがあり、また体験したくなったから」という人が最も多く、「以前旅行した時に見た美しい自然や風景が懐かしくなったから」という人を10%近く上回っている。

40代女性でも「以前旅行した時に見た美しい自然や風景が懐かしくなったから」という人は8%に留まり、「そこに連れて行って喜ばせたい人がいたから」という人の割合が最も高かった(12.0%)。

60代男性で最も多いのは「宿泊施設の料理が美味しかったのでまた食べたくなったから」(12.0%)で、「以前旅行した時に見た美しい自然や風景が懐かしくなったから」だという人は10%に留まる。

20代男性、20代女性、50代男性、50代女性では、「以前旅行した時に見た美しい自然や風景が懐かしくなったから」に次いで「行き慣れているところの方が安心できるから」という理由を挙げた人が多かった。

リポート先を旅行した一番の理由・全体(n=466)

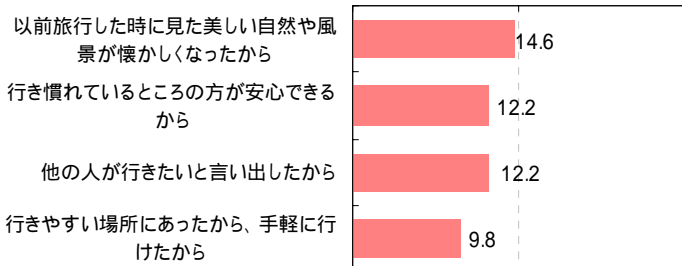


## 主な理由の性年代別

各性年代の上位4項目を表示

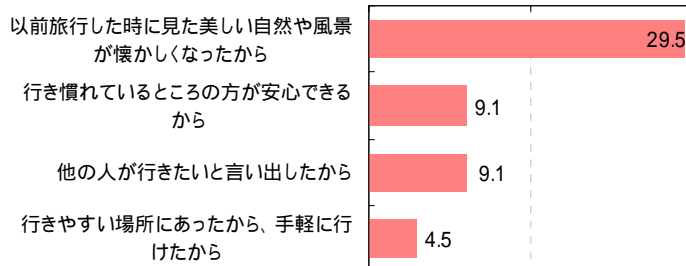
20代男性 (n=41) %

0 15 30



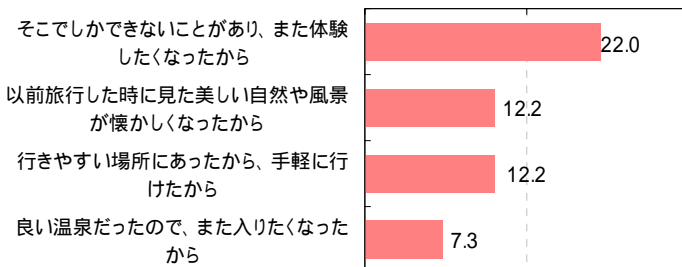
20代女性 (n=44) %

0 15 30



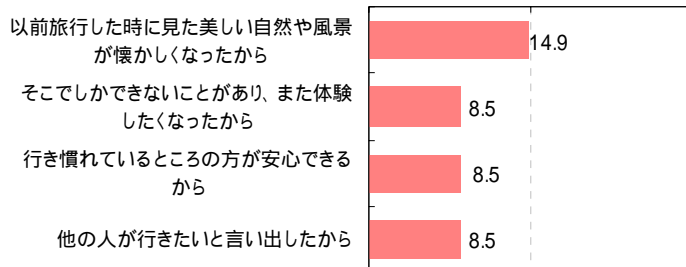
30代男性 (n=41) %

0 15 30



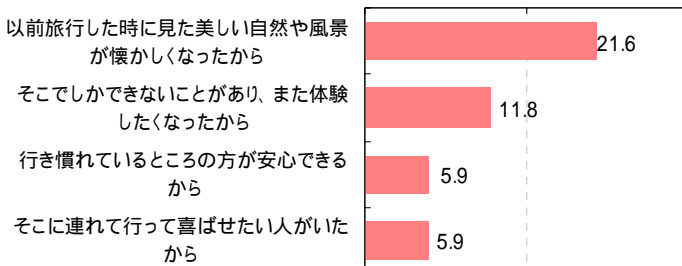
30代女性 (n=47) %

0 15 30



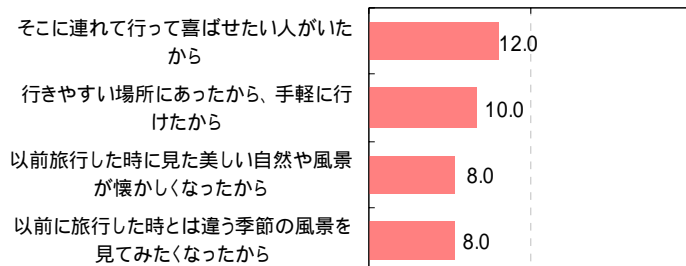
40代男性 (n=51) %

0 15 30



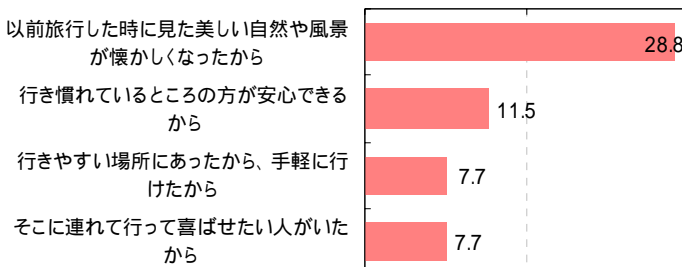
40代女性 (n=50) %

0 15 30



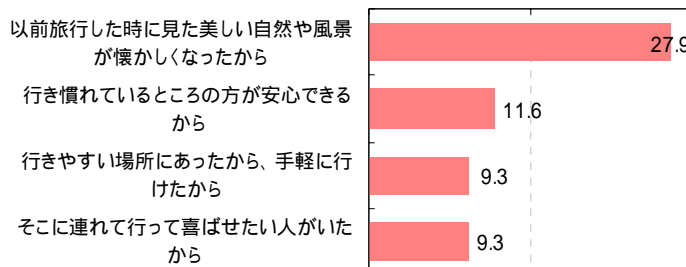
50代男性 (n=52) %

0 15 30



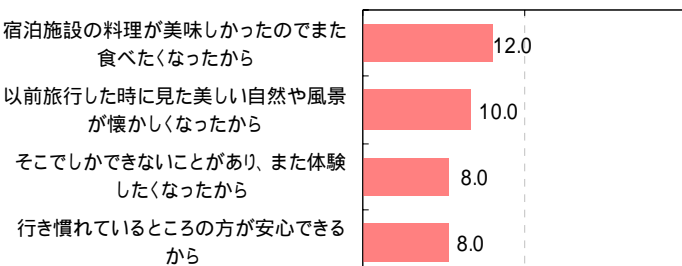
50代女性 (n=43) %

0 15 30



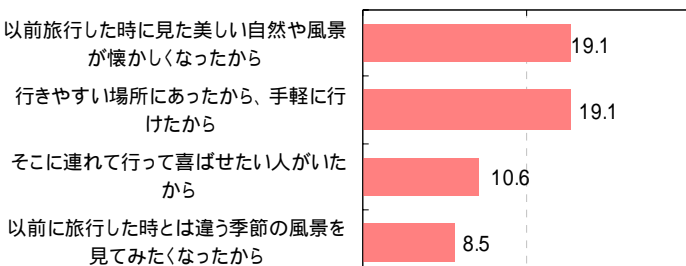
60代男性 (n=50) %

0 15 30



60代女性 (n=47) %

0 15 30



## 4.初めての先を旅行した時の目的

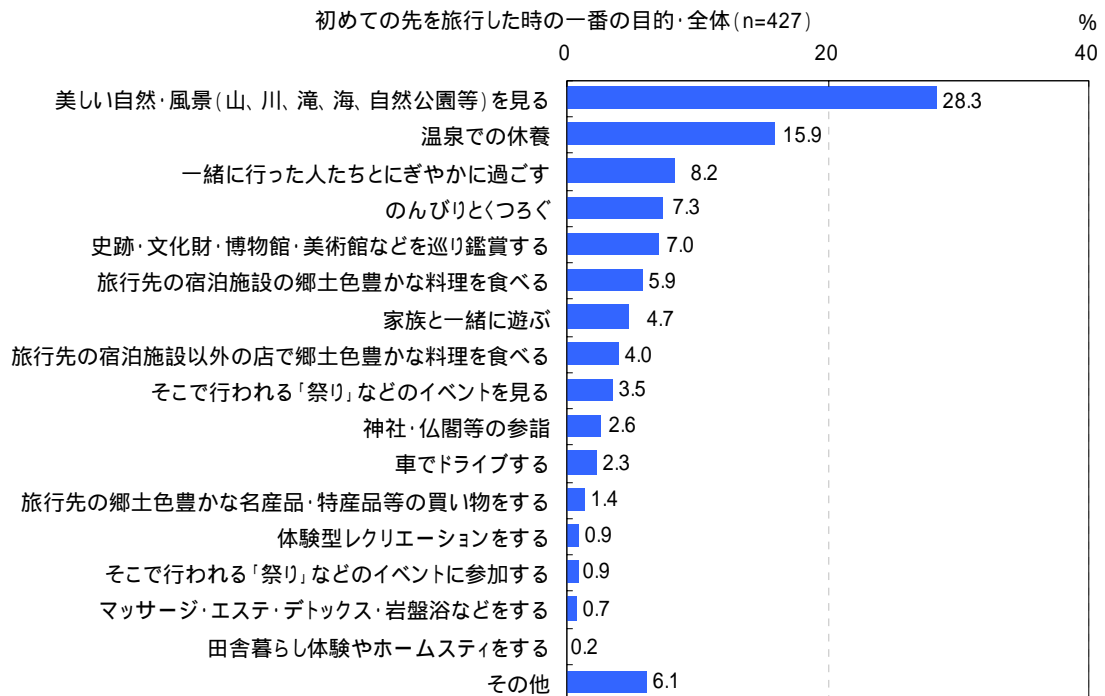
**「自然・風景」を見ることを一番の目的として旅行した人は全体の約3割だが、性年代によってばらつきがある**

訪れたことのない先に初めて旅行した一番の目的として最も多く挙げられたのは、「美しい自然・風景を見る」で3割近くに上る。次いで「温泉での休養」(15.9%)が続く。

性年代別にみると、20代女性、30代男性、30代女性では「温泉での休養」が「美しい自然・風景を見る」ことよりも上回っている。30代男性では「旅行先の宿泊施設の郷土色豊かな料理を食べる」ことを目的とした人も12.8%と「温泉での休養」に次いで多く、「美しい自然・風景を見る」ことは上位4項目に入らなかった。

「美しい自然・風景を見る」ことに次いで、20代男性では「一緒に行った人たちとにぎやかに過ごす」ことを、40代～50代男性、40代～60代女性では「温泉での休養」を目的とした人が多い。また、40代女性の中には「家族と一緒に遊ぶ」ことが目的という人も多い(13.2%)。

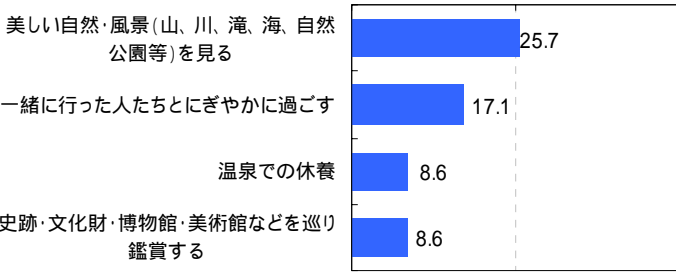
60代男性では4割以上の方が、初めての先への旅行では「美しい自然・風景を見る」ことを目的としたにも関わらず、前項で、以前訪れた先を再び選んだ一番の理由として「以前旅行した時に見た美しい自然や風景が懐かしくなったから」を挙げたのはその4分の1以下だった。



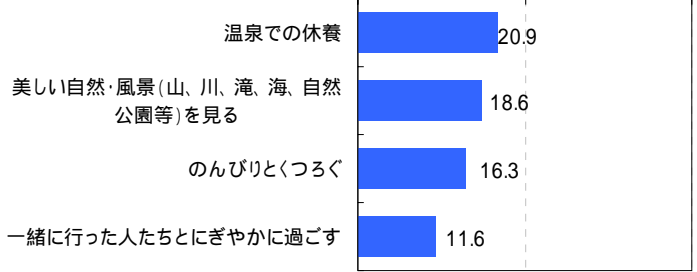
# 主な目的の性年代別

各性年代の上位4項目を表示

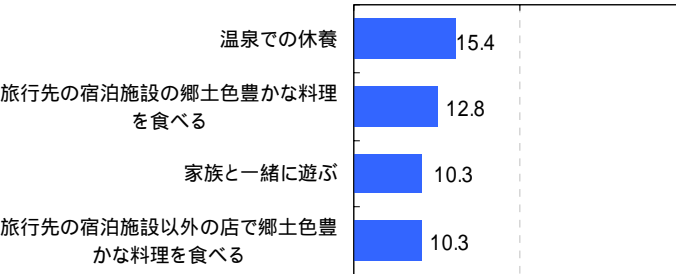
20代男性 (n=35) %



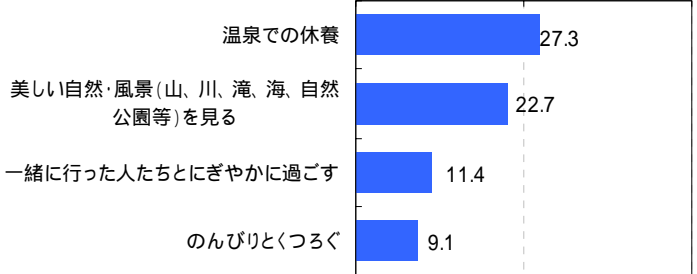
20代女性 (n=43) %



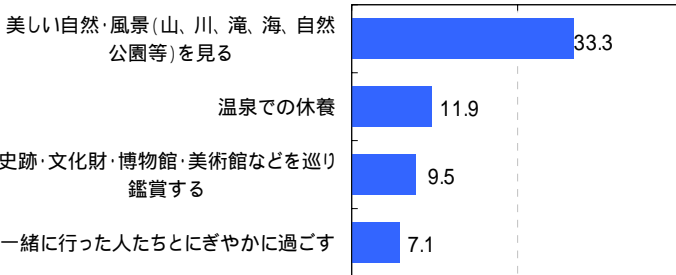
30代男性 (n=39) %



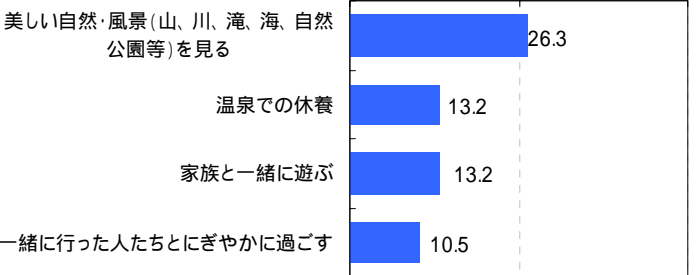
30代女性 (n=44) %



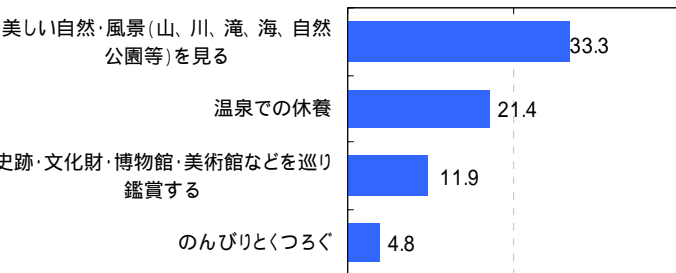
40代男性 (n=42) %



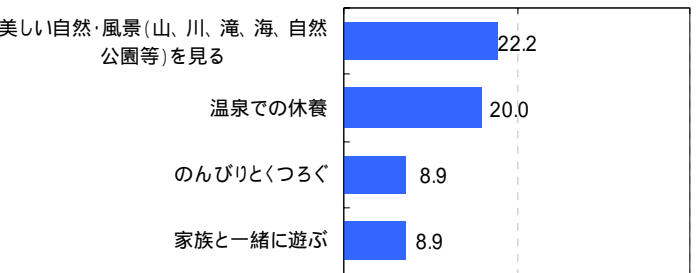
40代女性 (n=38) %



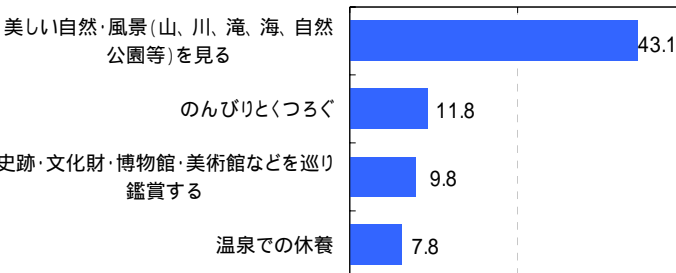
50代男性 (n=42) %



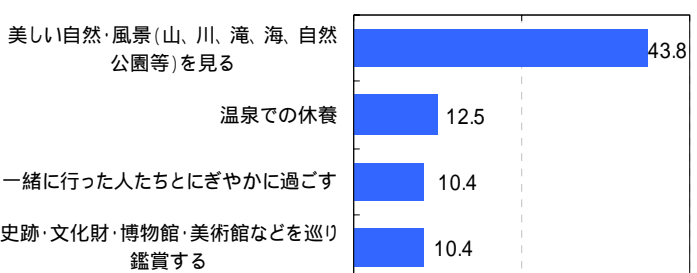
50代女性 (n=45) %



60代男性 (n=51) %



60代女性 (n=48) %





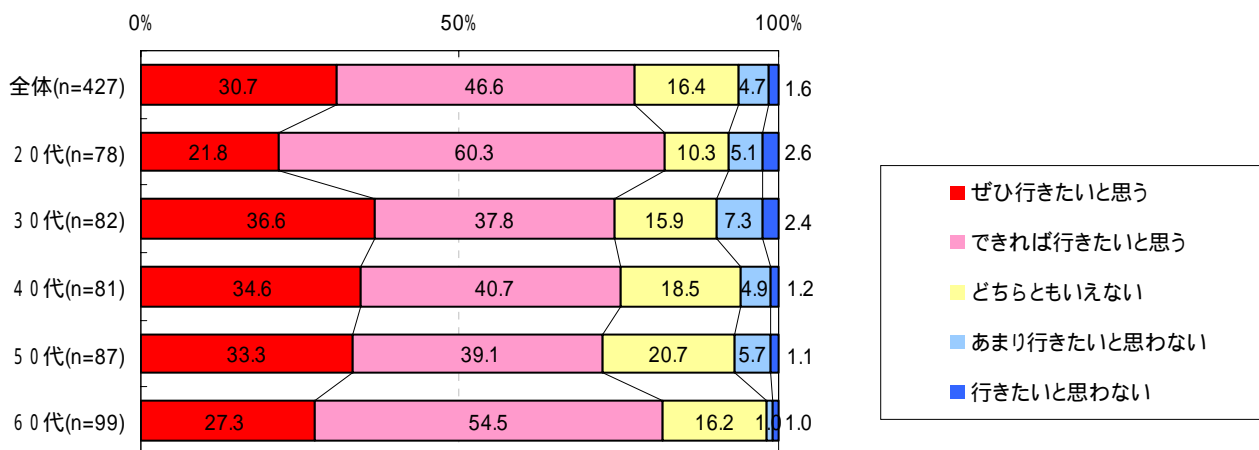
## 5. 初めて旅行した先のリピート意欲

「もう一度行きたい」と思わないのは、「同じ場所でなく新しい場所への旅行がしたいから」という人が半数以上

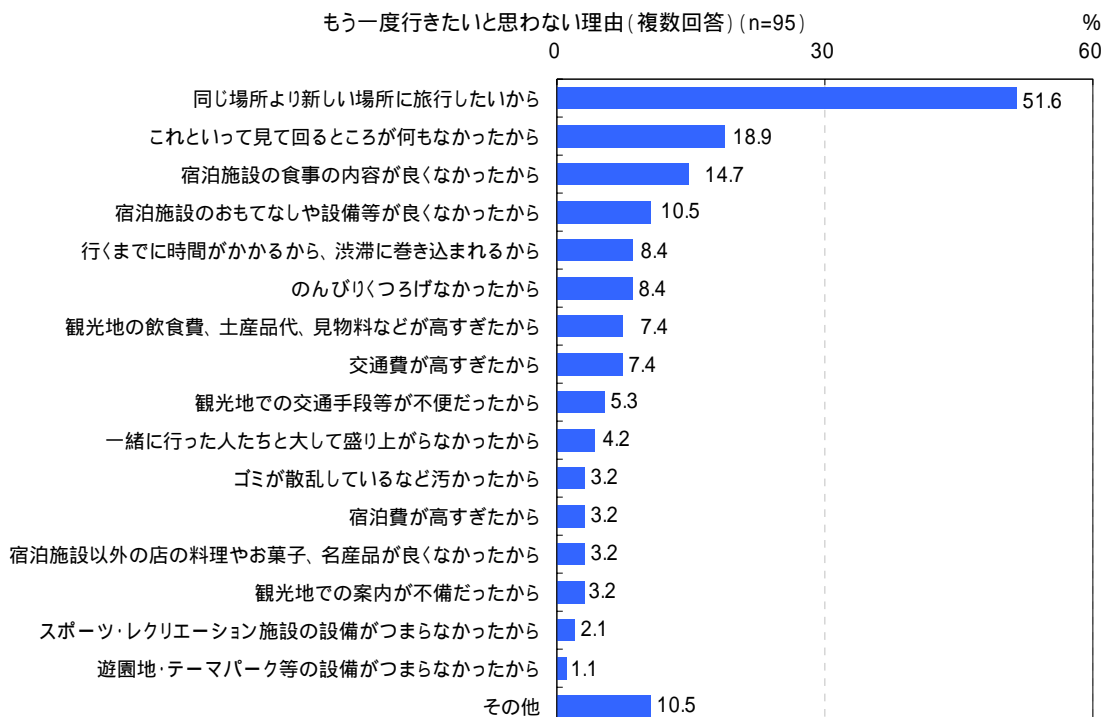
初めて旅行した先について、もう一度行きたいかどうか尋ねたところ、「ぜひ行きたいと思う」と答えた人は全体の3割で、「できれば行きたいと思う」という人も含めると77.3%にも上る。

「もう一度行きたい」と思わない人(「どちらともいえない」+「あまり行きたいと思わない」+「行きたいと思わない」)にその理由を尋ねたところ、飛び抜けて多かったのが「同じ場所より新しい場所に旅行したいから」を選んだ人で、全体の51.6%と半数を超えた。次いで多かったのが「これといって見て回るところが何もなかったから」で、18.9%であった。

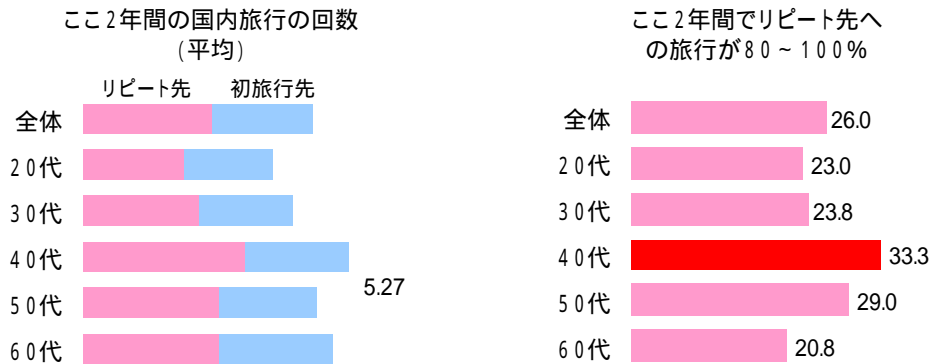
一番最近、初めて旅行した先に、もう一度行きたいと思うか



もう一度行きたいと思わない理由(複数回答)(n=95)

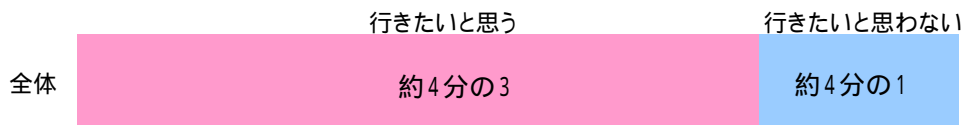


国内旅行ではどの年代でも、初旅行先よりリピート先に旅行する回数の方が多い。また、最も旅行回数が多いのは40代で、平均5.27回 / 2年。40代では、リピート先への旅行が国内旅行の80%以上を占めるといふ人が約3分の1。



初めての先に旅行した後、もう一度行きたいと思った人は全体の4分の3を超える。残り4分の1がもう一度行きたいと思わない理由としては、「特に嫌なところがあったわけでないが、同じところより新しいところに旅行したいから」が約半数に上る。

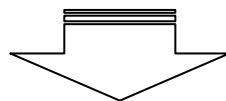
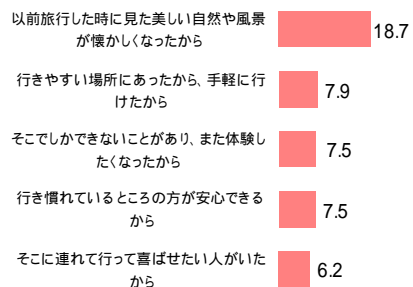
一番最近、初めて旅行した先に、もう一度行きたいと思うか



リピート先を旅行した理由としては、「美しい自然や風景が懐かしくなったから」(18.7%)が群を抜いてトップ。但し、以下のような性年代別による特徴もみられる。

- ・30代男性: 「そこでしかできない体験」
- ・40代女性: 「連れて行って喜ばせたい人がいた」
- ・60代男性: 「宿泊施設の料理が食べたくなった」
- ・20代男性、20代女性、50代男性、50代女性: 「行き慣れているところの方が安心できる」

リピート先を旅行した一番の理由・全体



### 事実から推測される仮説

最近の団塊世代の退職後の行動調査では、「旅行に行きたい」が上位を占めるなど、団塊世代の大量退職に伴う国内外への旅行ニーズが高まりをみせている。これまで支えてくれた妻と一緒に退職記念旅行をするといったケースでは、海外旅行も多いが、国内観光地としても顧客ニーズを的確に捉えたPRが必要となっている。特に、国内旅行では、シニア層を中心に初めての先を旅行するよりも、以前に訪れたことのある先を旅行する割合が高く、いかにリピート客を捉えるかが重要なポイントとなっている。

「美しい自然や風景が懐かしくなったから」が、リピート先を旅行する一番の理由として上位に挙げられたが、これは、青春時代に強く印象に残っている場所を再度旅行して思い出に浸りたいといった「ノスタルジー」によるものなのかもしれない。しかしながら、ターゲットそれぞれのライフスタイルに符合した特徴もみられることから、リピートしてもらおうポイントもターゲットによって異なってくる。例えば、「体験」、「帯同者を喜ばせたい」、「食のリピート」などがキーワードとなろう。ターゲットの特徴、キーワードを踏まえた販促戦略が重要であり、ターゲットニーズに合った顧客サービスが求められる。

**トピックスリサーチ**  
首都圏在住者の国内旅行に関する  
マーケティングデータ

---

発行日 2007年3月30日

---

発行・調査分析 朝日大学 マーケティング研究所  
〒460-0002  
愛知県名古屋市中区丸の内3-21-20  
朝日丸の内ビル2F  
TEL : 052-961-4576

---

お問い合わせ [apost@dance.ocn.ne.jp](mailto:apost@dance.ocn.ne.jp)